

# 令和4年度 学校関係者評価

旭市立飯岡小学校

## 1 学校教育目標

「確かな学力、豊かな心、健やかな体を備えた児童の育成」

## 2 本年度の経営の重点

- (1) ふるさと教育の推進
- (2) 社会の変化に対応できる確かな学力の育成
- (3) 思いやりのある豊かな心の育成
- (4) 健康でたくましく体力のある体の育成
- (5) 地域とともに歩む学校づくりの推進
- (6) 教職員の人材育成と働き方改革の推進

## 3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

※学校関係者評価は、学校評議員5名による評価

学校による自己評価の評価基準：A(満足できる:肯定的評価90%以上)、B(ほぼ満足できる:肯定的評価70~89%)

C(やや努力が必要である:肯定的評価50~69%)、D(努力が必要である:49%以下)

学校関係者評価の評価基準：A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

分野・領域	評価項目	評価の指標 (%)	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価		
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	
学校運営 教育課程	保：お子さんは毎日楽しく学校に行っている。	92.1	A	保護者、児童、職員ともに約90%以上が「子どもたちが毎日楽しく学校に行っている」と回答し、学校生活が充実している様子がうかがえました。今年度は、学校行事も感染症拡大前に戻し、制限がある中でも運動会、修学旅行や宿泊行事、飯岡小フェスティバル、マラソン大会、校外学習などを実施することができたことが肯定的評価につながっていると思われまます。 また、防災教育や高台避難訓練、生活科の町探検、家庭科の調理実習やミニ学習、社会科のイチゴ農家のオンライン授業、外部講師による合唱練習、読み聞かせ、飯岡小フェスティバルでの伝統芸能の披露などで、地域の皆様にお世話になり、充実した教育活動を展開することができました。	A	A	
	児：あなたは、毎日楽しく学校に行っていますか。	89.9	B				
	職：児童は毎日楽しく登校している。	93.3	A				
	保：学校は、地域と連携し、地域の人材を児童の学習や教育活動に生かしている。	92	A				
	職：学校は、地域と連携し、地域の人材を児童の学習や教育活動に生かしている。	100	A				
学校関係者による 意見等	特になし						
学習指導 家庭学習	保：お子さんは授業が楽しく分かりやすいと言っている。	80.7	B	授業については、保護者からの肯定的評価が昨年度より7.5%下回ってしまいました。職員の自己評価も肯定的評価が昨年度より6.2%下回ったことから、若手職員が増え、わかりやすい授業の展開に自信が持てていない様子がうかがえます。また、教員の不足により、職員の多忙化に拍車がかかり、教材研究に割く時間が確保できなかった点についても大きな反省点です。しかし、児童の9割以上が、「楽しく、わかりやすい」と評価してくれたことは、職員の大きな励みとなりました。授業力を向上させるためにICTの有効な活用方法や主体的で対話的な学び方等の研修を実施していきます。 宿題や自主学習等の実施状況については、保護者からの肯定的な評価が60.5%、児童からも肯定的な評価が68.5%という結果でした。家庭での学習習慣については、ご家庭での塾や習い事等の実態により差が出てしまっていますが、学校として宿題や自主学習等を忘れずに行ったことを認め、励ましていきます。 今年度は年間を通して、出題範囲を予告した本校独自のチャレンジテストを実施して、自主的に学ぶ習慣が身に付くよう力を入れてきました。満点を取った児童に賞状を授与したり、毎回の平均点を学校便りに掲載したりして、意欲付けをしてきました。今後も効果的な自主学習の取組を学年だより等で紹介していきます。	C	B	B
	児：先生の授業は楽しく分かりやすいですか。	91.4	A				
	職：児童は授業が楽しく分かりやすいと言っている。	86.6	B				
	保：宿題が終わったかを確認したり、学校で学習したテストやプリント等を確認して、児童の学習状況を把握している。	84.2	B				
	職：宿題や授業で学習したテストやプリント等を確認して、児童の学習状況を把握している。	100	A				
	保：宿題や自主学習等、決まった時間に学習する家庭学習の習慣が身についている。	60.5	C				
	児：あなたは、宿題や自主学習など決まった時間に取り組んでいますか。	68.5	C				
	職：児童は、宿題や自主学習等、家庭学習の習慣が身についている。	60	C				
学校関係者による 意見等	児：あなたは、学校や自宅で本を読んでいますか。	61.7	C				
学校関係者による 意見等	・読書賞というチャレンジがあるのに61.7%の児童しか周感づいていないのはページ数をこなすことが目標になってしまい、読書による楽しさや嬉しさが得られていないのではないですか。ページ数が少なくてもよい本やその子どもに合った本を紹介する司書の方に協力を得られると読書が定着するのではないのでしょうか。						
生徒指導	保：お子さんは、分からないことや困っていることについて、先生に相談しやすい、話しやすいと言っている。	69.3	C	相談体制については、保護者からの肯定的な評価が69.2%という結果で、昨年度より15.5%下回ってしまいました。児童からの肯定的な評価も78.0%でした。 それに対して、職員の肯定的な評価は高く、児童、保護者との認識に差がありました。職員は親身に相談ののっていると感じていたことが、児童や保護者に伝わっていない結果については職員一同真摯に反省をし、児童に対し笑顔で接すること、丁寧な言葉遣いを心がけることにポイントを置き、努力していきます。また、教育相談期間を設け、職員が一人一人の児童と向き合う時間をつくっていきたくと考えています。 また、スクールカウンセラーから児童の話を聞く際の留意事項や傾聴の仕方等を学び、児童の心情に寄り添った相談体制を構築できるように努めます。	B	A	B
	児：先生は、分からないことや困っていることがあるとき、相談しやすい、話しやすいですか。	78	B				
	職：児童は、分からないことや困っていることについて、職員に相談しやすい、話しやすいと言っている。	93.3	A				
	保：学校は、お子さんの良いところは認め・伸ばし、ただすべき行動に対しては、真剣に対応している。	88.6	B				
	児：先生は、あなたの良いところは認め、ほめてくれますか。	84.3	B				
	職：学校は、児童の良いところは認め・伸ばし、ただすべき行動に対しては、真剣に対応している。	100	A				
	学校関係者による 意見等	・児童の悩みに先生方だけの対応では大変だと考えます。何か児童に変化があったときにいち早く気づいてあげられる先生であってほしいです。それが子どもや親との信頼関係につながると思います。悩みの内容については専門家の方を頼ることは、賢明なことだと思います。 ・コロナ禍で保護者が学校を訪れることが減少し、先生方の対応が理解してもらえないことも大きな原因の一つだと考えます。職員と保護者のギャップを埋めることは大変なことです。是非、取り組んでほしい。					
道徳 特別支援教育	保：学校はお子さんの個性や良さ・学習のつまずきを的確に把握し、適切な指導・支援をしている。	79.8	B	一人一人に合った指導・支援については、保護者からの肯定的な評価が79.8%という結果でした。この結果については重く受け止め、児童の個性や良さ・学習のつまずきをしっかりと見極められるよう、職員一同、児童と関わる時間を今以上に確保すること、職員個々のアンテナを高めて、児童の様子を見極めることに努めていきます。 また、来年度も引き続き、「思いやりの木」の取組を継承し、全職員で児童のよさを発見して情報共有し、よい行いを称揚していきたいと思えます。 挨拶や言葉遣いについては、課題があります。挨拶運動を行い、児童が主体的に挨拶の素晴らしさを伝える活動を行ってきました。職員自らが率先垂範し、すべての教育活動とおして、気持ちのよい挨拶と返事、丁寧な言葉遣いを指導していきます。	B	A	A
	職：学校は児童の個性や良さ・学習のつまずきを的確に把握し、適切な指導・支援をしている。	93.4	A				
	保：お子さんは、挨拶やあなたか言葉遣いなどが身に付いている。	87.7	B				
	児：あなたは、あいさつや丁寧な言葉遣いが身に付いていますか。	87.3	B				
	職：児童は、挨拶やあなたか言葉遣いなどが身に付いている。	67	C				
	保：お子さんがきまりやマナーなどを守らなかった時は、お子さんが納得するまで話し合っている。	98	A				
	児：あなたは、学校のきまりを守ることが身に付いていますか。	90	B				
	職：児童がきまりやマナーなどを守らなかった時は、児童が納得するまで話し合っている。	93.3	A				
学校関係者による 意見等	・小学生の時に身についたことは、一生身につけていると思います。						
安全管理	保：学校は、学校での怪我やトラブルがあった時、速やかに対応・連絡・指導をしている。	93.8	A	保護者からの肯定的な評価が94.0%、児童からの肯定的な評価も93.1%という結果が出ました。肯定的な評価が高く、職員一同安心しているところではありますが、自由記述の中でトラブルの対応や学校からの連絡について2名の方からご意見をいただきました。一人一人の声を真摯に受け止め全職員と話し合っ、丁寧な対応を心がけていきます。 通学路の安全点検や防災教育においては、地域の皆様にも大変お世話になりました。	A	A	A
	児：先生は、けがやトラブルがあったとき、すぐに対応してくれますか。	93.1	A				
	職：学校は、学校での怪我やトラブルがあった時、速やかに対応・連絡・指導をしている。	100	A				
	保：学校は、安全安心な学校を目指し、施設環境に留意し、防災教育に力を入れている。	92.9	A				
	児：学校は安全で、安心して登校することができますか。	95	A				
	職：学校は、安全安心な学校を目指し、施設環境に留意し、防災教育に力を入れている。	100	A				
学校関係者による 意見等	特になし						
保護者・地域との 関わり	保：学校は、家庭から連絡したことや相談等について、きちんと話を聞き、アドバイスするなど、速やかに対応している。	92.1	A	情報公開についての保護者からの肯定的な評価が97.3%という結果でした。学校の様々な情報を保護者の皆様や地域の皆様に発信していくことで、学校の様子が伝わり、保護者・地域の方との連携が生まれ、信頼が芽生えていくと考えています。 そのため、今年度は、学校便りを地域の回覧板にて回覧していただいたり、学校ホームページの更新を行事の度に行ったり、学校としても努力を続けて参りました。1月からは、保護者連絡用アプリ「テル」の運用も始まり、お便り等も配信することができるようになりました。今後も様々な方法を活用して学校の情報を発信していきます。 児童の基本的な生活習慣については、学校としては課題に感じております。特に、課題の提出や登校時刻を守ること、自分の学習用具の管理をしっかり行う習慣については、身につけさせたいと考えています。	A	A	A
	職：学校は、家庭から連絡したことや相談等について、きちんと話を聞き、アドバイスするなど、速やかに対応している。	100	A				
	保：食事、排便、洗顔、歯磨きの健康に関する習慣や、翌日の準備、整理整頓等の基本的な生活習慣が身に付いている。	84	B				
	職：児童は、時間や約束事を守ったりする習慣や、整理整頓等の基本的な生活習慣が身に付いている。	53	C				
	保：学校は教育方針や教育活動・行事等(授業参観・公開日)について、学校(学級)だより、学校ホームページで分かりやすく伝えている。	97	A				
	職：学校は教育方針や教育活動・行事等(授業参観・公開日)について、学校(学級)だより、学校ホームページで分かりやすく伝えている。	93	A				
	保：学校は、地域と連携し、地域の人材を児童の学習や教育活動に生かしている。	92	A				
	職：学校は、地域と連携し、地域の人材を児童の学習や教育活動に生かしている。	100	A				
学校関係者による 意見等	・低学年の場合、家庭の協力がなく難しい場合があると思います。家庭に問題がある場合、公共の組織を利用し、社会として子どもを見守っていくのが大切だと思います。学習指導や生徒指導、道徳教育にも関わることですが保護者の考えが多様化したことに加え、保護者が子どもに関わっていない家庭も増加しているため「子どもの育ち」が大変気になっています。						